

患者さんへ

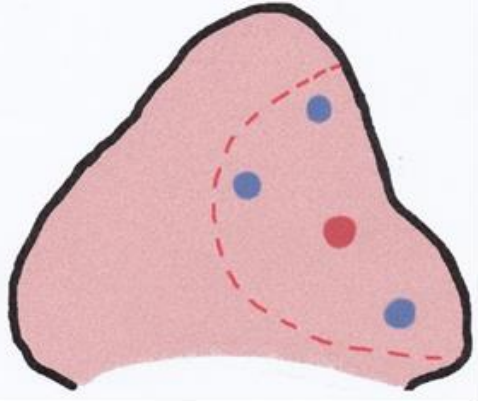
「気管支鏡バーチャル 3D 肺マッピング後肺切除症例の 長期成績の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2015年2月～2021年7月に当院呼吸器外科で気管支鏡バーチャル 3D マッピング (Virtual-assisted lung mapping: VAL-MAP)後に肺癌もしくは転移性肺腫瘍の診断で肺切除手術を受けられた方
2 研究目的・方法	<p>VAL-MAP は肺小型病変への術前マーキング方法として開発され、本邦において認知されている手技です。当施設も 2015 年に導入し継続施行して行っています。</p> <p>当院における肺小型病変に対する VAL-MAP の有効性・妥当性を評価するために、実施したマーキングの術中同定率、手術時間、出血量、病変切除率、局所制御率(切除した局所に再発がないかどうかの確認)、そして肺癌の患者さんについては、術後の経過の確認を行います。</p> <p>【気管支鏡バーチャル 3D マッピングについて】</p> <p>適応となる病変</p> <ol style="list-style-type: none">1) 術中触診が困難なすりガラス影や小型病変2) 慎重な切離ラインの設定を要する区域切除を行う病変 <p>手術の前日に気管支鏡を用いて、病変の周囲に色素を散布してマークを付け、その直後に CT を撮影して、病変部とマークをつけた部分を 3DCT で確認します。</p> <p>手術の際に、その画像を元に肺を観察し、色素でマークをつけた部分を切除することにより、病変を確実に切除することができます(下図)。</p>

	 <p>● : 病変 ● : 色素マーキング</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年4月予定)後~2027年3月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	<p>年齢、性別、病歴、画像検査所見、再発の有無、手術中の所見 等</p>
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 深井隆太 湘南鎌倉総合病院 呼吸器外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>

2024年4月30日作成(第1.1版)